T&G TAKE and GIVE NEEDS

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
2012年3月期決算説明資料

本資料は株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの2012年3月期の業績及び

経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、

当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではございません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、

その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、

また今後、予告なしに変更されることがあります。

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ　経営企画部

Tel　03-6833-1172

E-Mail　ir@tgn.co.jp

HP　http://www.tgn.co.jp/company/ir

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅰ. 2012年3月期 連結決算概要 P4–P14

1. 総括 P5
2–1. 連結 損益計算書 P6–P10
2–2. 連結 貸借対照表 P11–P12
2–3. 連結 キャッシュ・フロー計算書 P13
3. 剰余金の配当について P14

Ⅱ. 153P（3ヵ年中期経営計画）概要 P15–P19

Ⅲ. 2013年3月期 連結業績計画及び重点方針 P20–P34

1. 2013年3月期の位置付け P21
2. 連結 通期業績計画 P22
3. 国内ウェディング事業 主要指標計画 P23–P24
4. 2013年3月期の重点方針 P25–P34

Ⅳ. 2013年3月期 配当予想 P35–P36

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I

Results of FY Ended March 2012

2012年3月期 連結決算概要

中期経営計画スタートに向け 強固な事業基盤を確立

震災影響を受けるも安定業績を確保

当期も増収を確保、営業利益は3期連続**20**億円を上回る

挙式披露宴単価は上昇基調を継続

既存店は前年同期比約**9**万円増加

来期受注進捗は前年を上回り好調に推移

直営店の来期受注組数残高は前年同期比**9**%増加

財務基盤の強化が進む

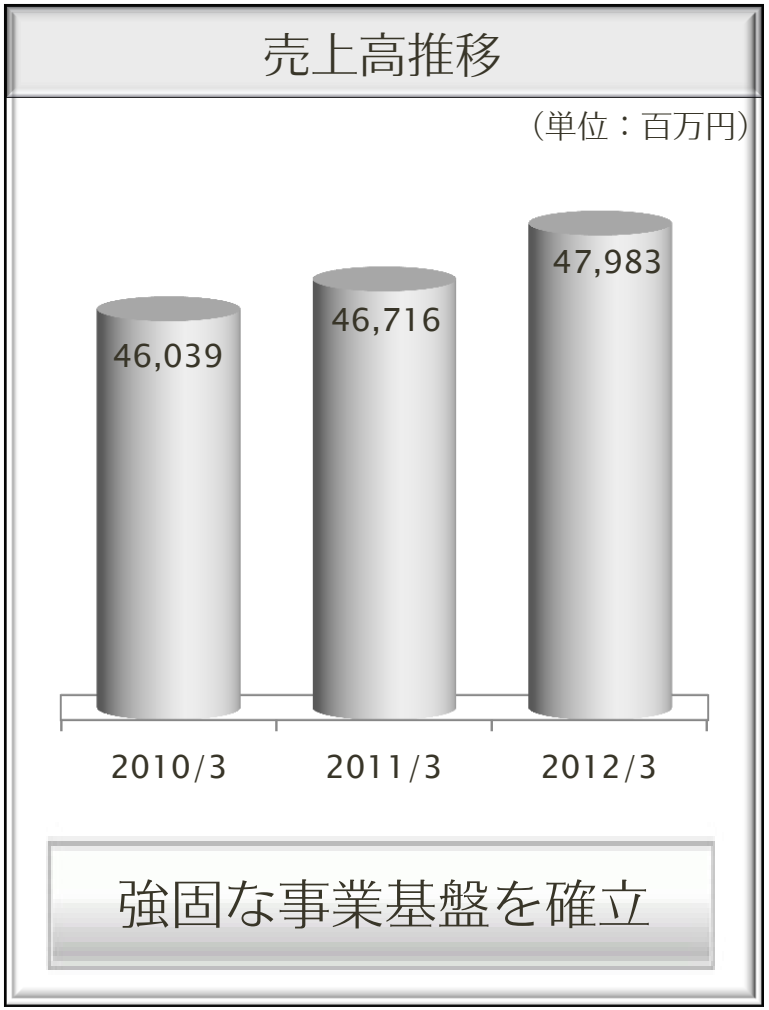
有利子負債は前期末比**17**億円削減

I 2-1-1. 連結 損益計算書 概要

強固な事業基盤を確立
増収を確保し、営業利益も20億を上回る

単位:百万円	2011/3	2012/3	前年差異
売上高	46,716	47,983	+1,266
売上総利益	24,954 53.4%	25,801 53.8%	+846 +0.4pt
販管費	22,672 48.5%	23,588 49.2%	+916 +0.7pt
営業利益	2,282 4.9%	2,212 4.6%	-69 -0.3pt
経常利益	1,541 3.3%	1,588 3.3%	+46 ±0pt
当期純利益	214 0.5%	453 0.9%	+238 +0.4pt

※ %は売上高比



T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 2-1-2. 国内ウェディング事業 売上高内訳

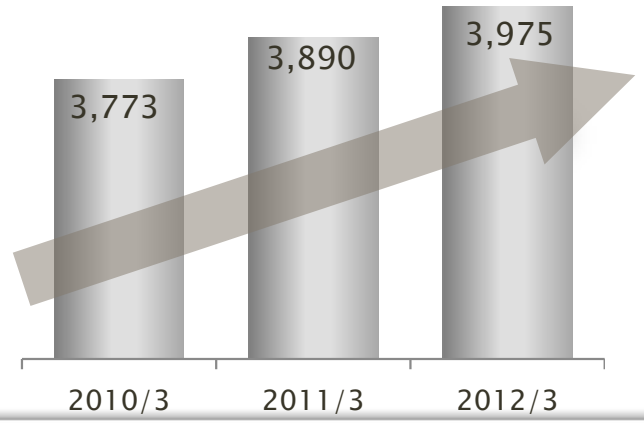
単価は上昇基調を継続、前年同期比約9万円増
来期受注組数残高は前年同期比9%増

単位: 百万円	2011/3	2012/3	前年差異
直営店			
売上高	38,915	39,057	+142
取扱組数	9,897	9,738	-159
平均単価（千円）	3,890	3,975	+85
平均人数	73	72	-1
プロデュース型			
売上高	1,764	2,304	+540
取扱組数	638	805	+167
平均単価（千円）	2,739	2,844	+105

※ プロデュース型にはレストラン提携、婚礼運営受託、ビル内施設プロデュースを含む

直営店単価推移

（単位：千円）



来期受注進捗

来期受注組数残高の前年同期比

直営店
109%

（3月末時点）

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 2-1-3. 海外・リゾートウェディング事業 内訳

海外・リゾートウェディングは躍進
売上高9%増、営業利益31%増で増収増益を達成

単位: 百万円	2010/3	2011/3	2012/3	差異
売上高	3,246	4,014	4,355	+341
営業利益	108	288	376	+88

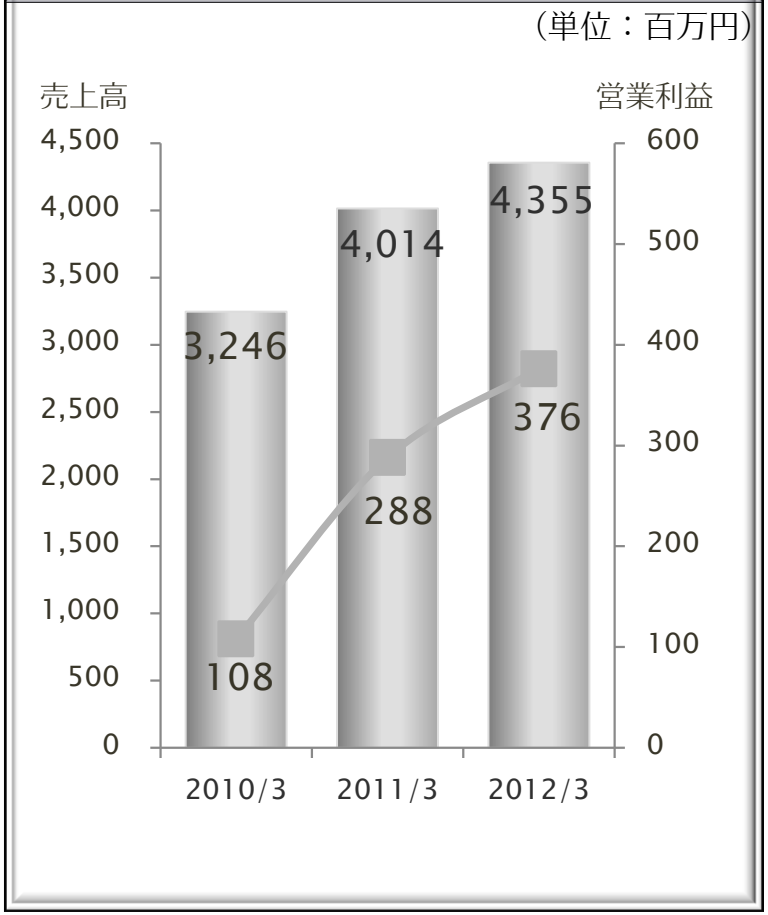






ハワイ モアナサーフライダー ウェスティン リゾート&スパ

売上高・営業利益推移



T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 2-1-4. 連結 売上総利益・営業利益

中長期的な成長投資を積極的に実施
営業利益20億円を上回り、成長の基盤が整う

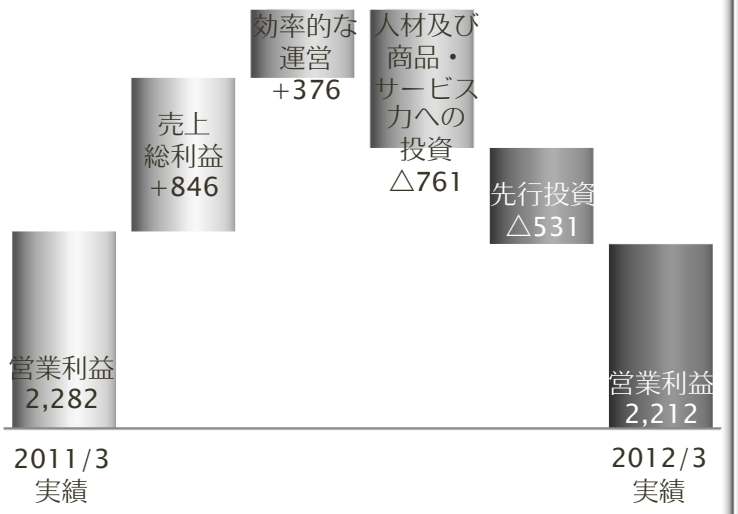
単位:百万円	2011/3	2012/3	前年差異
売上高	46,716	47,983	+1,266
売上原価	21,762 46.6%	22,181 46.2%	+419 -0.4pt
売上総利益	24,954 53.4%	25,801 53.8%	+846 +0.4pt
販管費	22,672 48.5%	23,588 49.2%	+916 +0.7pt
営業利益	2,282 4.9%	2,212 4.6%	-69 -0.3pt

※ %は売上高比

営業利益前年比増減

（単位：百万円）

当期の重点施策に対する
投資も計画通り



T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 2-1-5. 連結 営業外損益・特別損益・純利益

支払利息の減少により経常利益は増益確保
税制改正の影響を吸収し、当期純利益は増益

単位:百万円	2011/3	2012/3	前年差異
営業利益	2,282	2,212	-69
営業外損益	△ 741	△624	+116
経常利益	1,541	1,588	+46
特別損益	△1,882	△338	+1,544
当期純利益	214	453	+238

主な要因等

支払利息　△61百万円

（参考）2011年3月期
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額　△647百万円
災害による損失　△566百万円

2012年3月期
税制改正に伴う税効果会計適用による影響額　△254百万円

T&G TAKE and GIVE NEEDS

2-2-1. 連結 貸借対照表 ＜資産の部＞

戦略的に資産の効率化を推進

単位:百万円	2011/3末	2012/3末	増減
流動資産	6,801	7,779	+978
現金及び預金	4,094	5,035	+941
固定資産	37,832	35,610	-2,221
有形固定資産	20,927	20,803	-124
無形固定資産	607	557	-50
投資その他資産計	16,297	14,249	-2,047
資産計	44,634	43,390	-1,243

主な増減要因

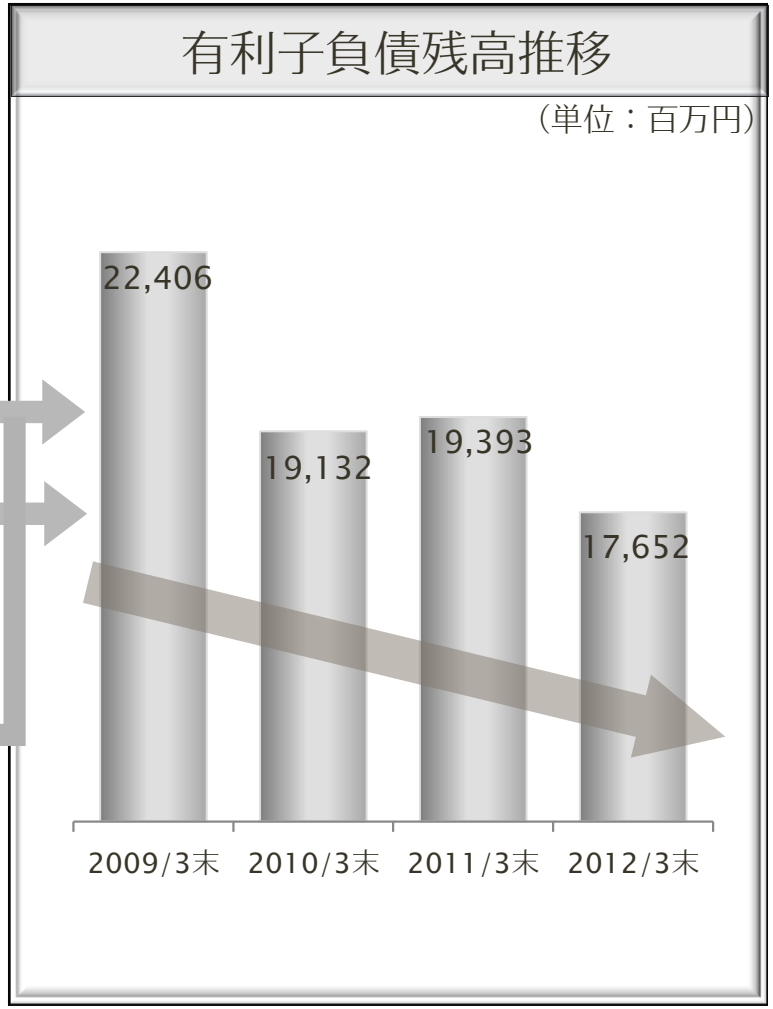
敷金及び保証金の減少
△1,628百万円
- リース資産の買取
- リース料と保証金の相殺

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 2-2-2. 連結 貸借対照表 ＜負債・純資産の部＞

有利子負債は前期末比約17億円の削減を実現

単位: 百万円	2011/3末	2012/3末	増減
負債合計	28,186	26,598	−1,588
流動負債計	12,598	15,158	+2,559
短期借入金	1,770	2,140	+370
(一年内)長期借入金	4,823	6,445	+1,622
固定負債計	15,587	11,439	−4,147
長期借入金	12,800	9,066	−3,733
純資産計	16,447	16,792	+344
負債・純資産計	44,634	43,390	−1,243



I 2-3. 連結 キャッシュ・フロー計算書 解説

フリーCFはプラスを確保し有利子負債を削減

単位: 百万円	2011/3	2012/3
営業活動によるCF	1,449	3,687
投資活動によるCF	△ 2,138	△880
財務活動によるCF	232	△1,828
現金及び預金残高	3,556	4,614

主な増減要因

税引前当期純利益
（前期末比）+1,591百万円

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 3. 剰余金の配当について

期末配当を実施予定

	1株当たりの配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2012/3予定	0円	100円	100円
前期実績（2011/3）	0円	100円	100円

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ

Medium-term business plan
FY Ending March 2015

153P（2013/3-2015/3の3ヵ年中期経営計画）

※2012年2月3日発表

詳細はこちらをご覧ください

http://pdf.irpocket.com/C4331/oWM7/VU7I/JVyi.pdf

T&G「2020 Target」では、

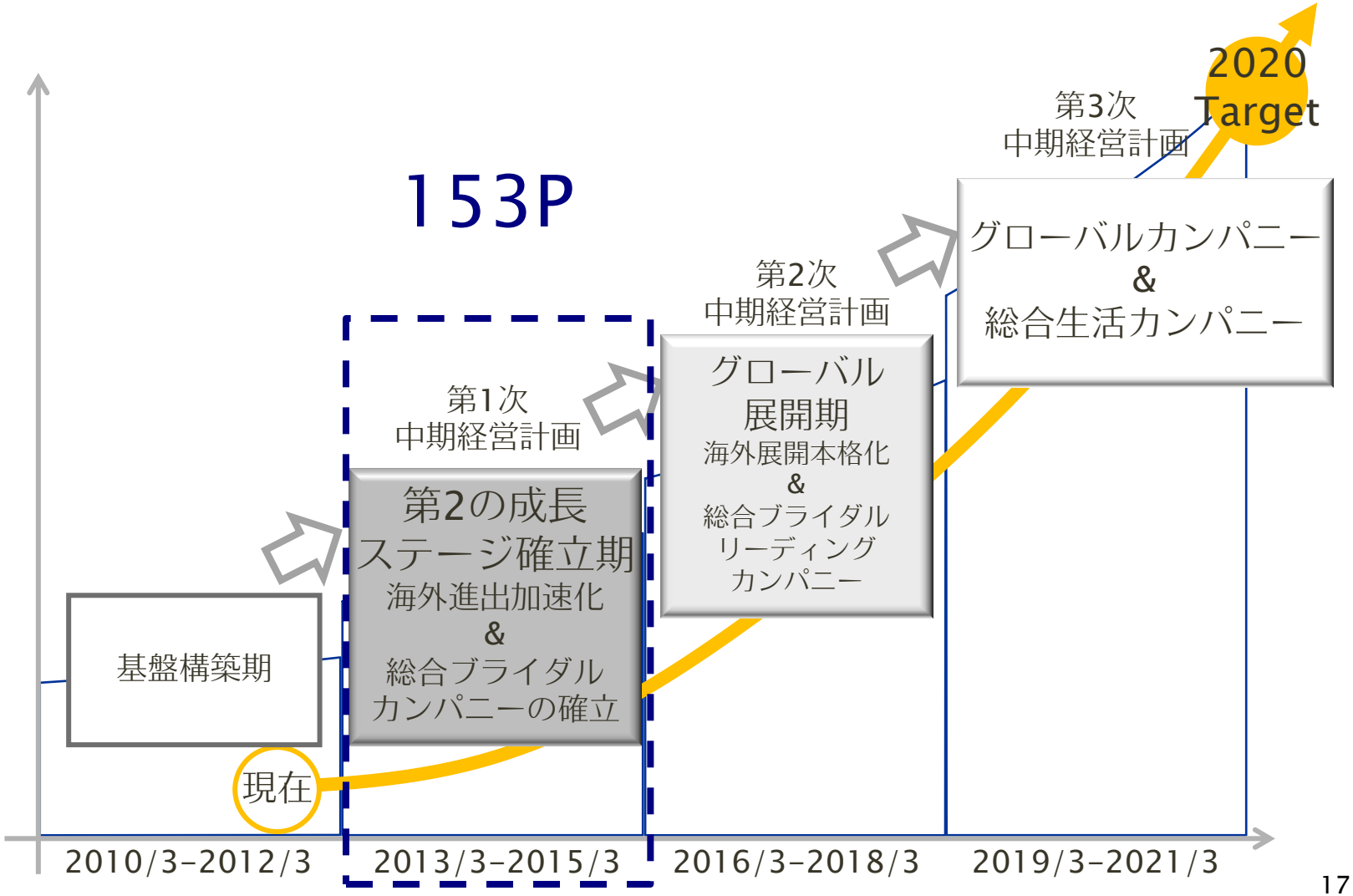
企業理念「人の心を、人生を豊かにする」をベースに

- グローバルカンパニーとしての地位確立を目指します。
- 総合生活カンパニーへの進化を目指します。

そして、売上高1,000億円の達成を目指します。

2. 153Pの位置づけ

「第2の成長」ステージを確立
2020Target実現へのファーストステップ



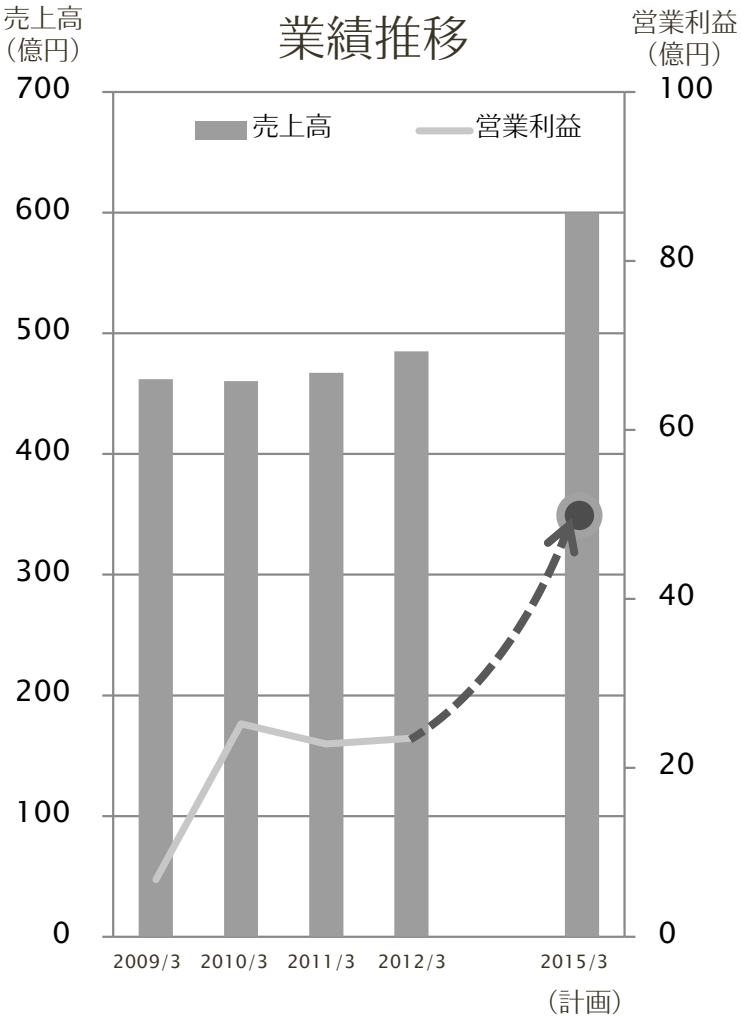
Ⅱ 3. 153P最終年度（2015年3月期）目標数値

売上高600億円、営業利益48億円（営業利益率8%）
健全なる成長により財務基盤を強固に

■ 定量目標（連結）

（単位：億円）

（単位:億円）	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2015年3月期 計画
売上高	467	479	600
営業利益 (売上高 営業利益率)	22.8 (4.9%)	22.1 (4.6%)	48 (8%)
当期純利益	2.1	4.5	25
ROCE※	8.3%	8.7%	18%
自己資本比率	36.7%	38.4 %	50%
有利子負債	193	176	130



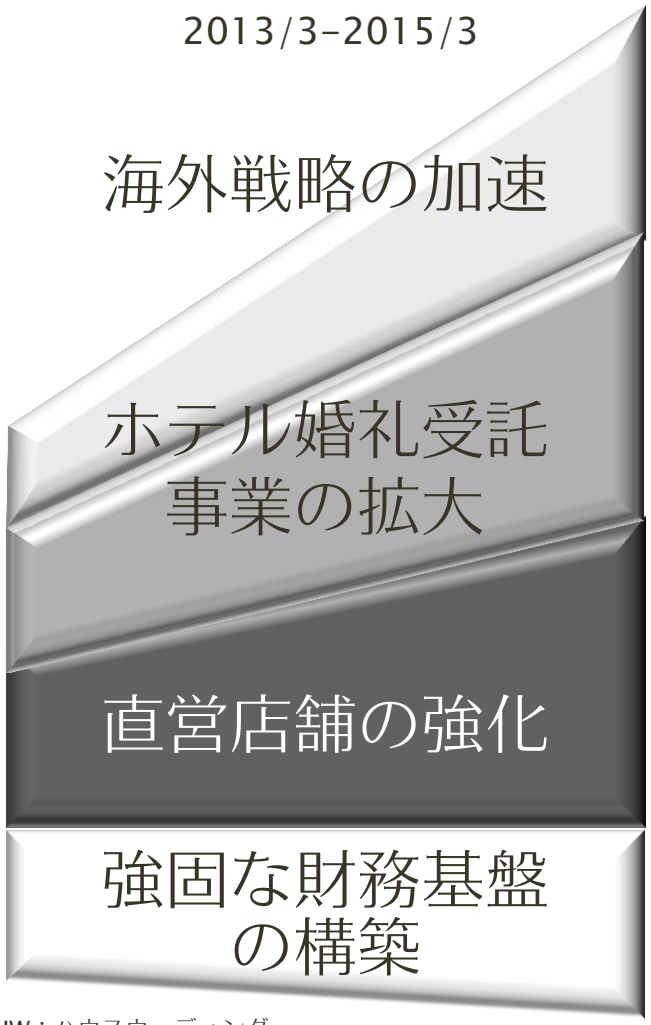
*ROCE（Return on Capital Employed）
＝EBITDA（営業利益＋減価償却費）÷投下資本（有利子負債＋純資産＋リース債務）

T&G TAKE and GIVE NEEDS

4. 153P成長イメージと重点戦略

海外と国内事業拡大により売上600億円を実現
強固な財務基盤構築で有利子負債削減

2013/3–2015/3



連結売上高構成比10%強へ
- アジア婚礼プロデュース拡大
- リゾートウェディングシェア拡大

ホテル婚礼受託売上高50億円
- 第2の柱事業への育成

差別化戦略の推進
- One Heart Wedding

成長、事業基盤投資額倍増
- HWシェア拡大（出店／M&A）
- 事業基盤投資（リニューアル等）

有利子負債30%強削減（※）
- フリーCF拡大により有利子負債削減

HW：ハウスウェディング

※2011年3月期末比

T&G TAKE and GIVE NEEDS

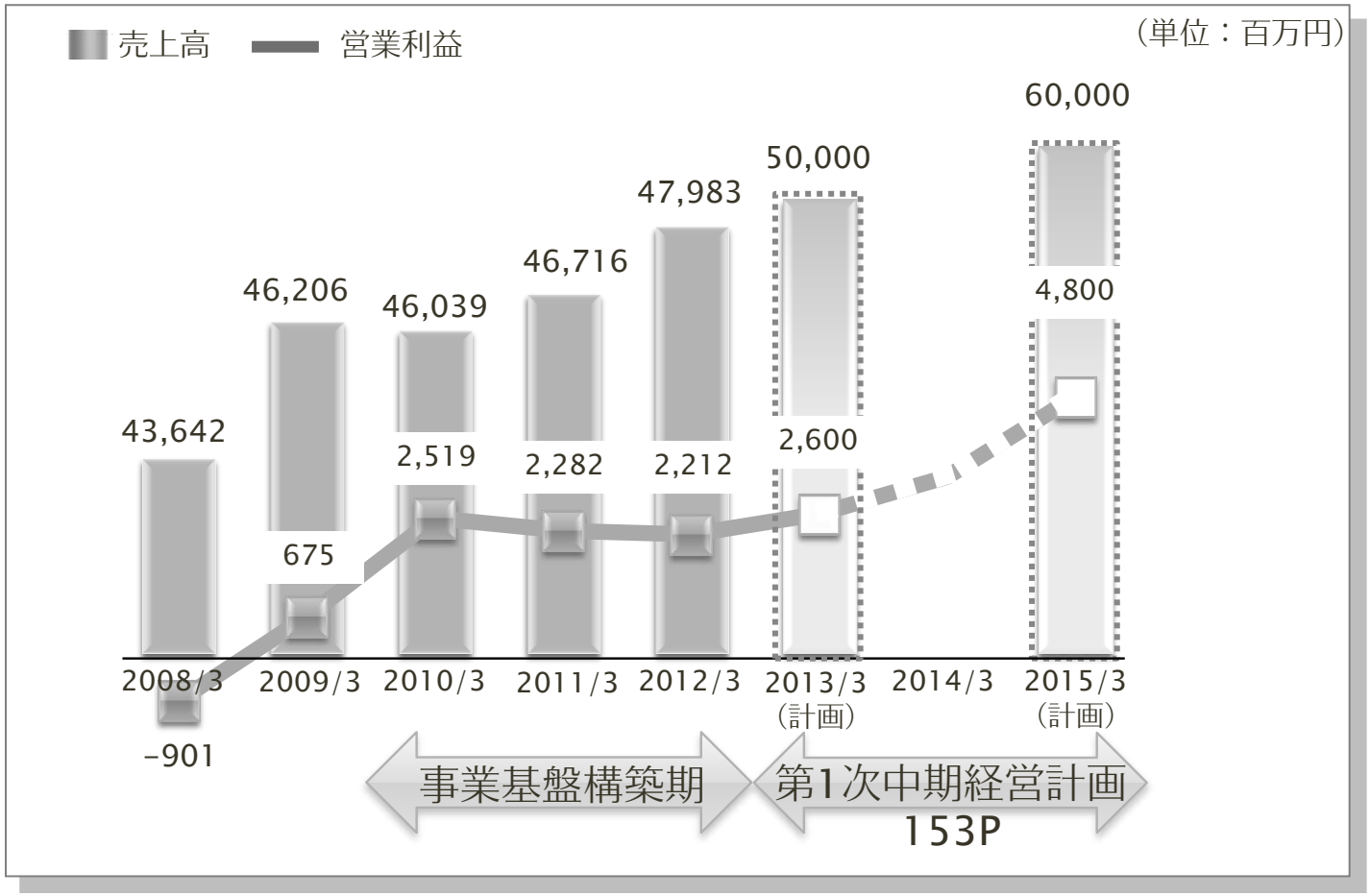
III

Forecast and Plans
FY Ending March 2013

2013年3月期 連結業績計画及び重点方針

1. 2013年3月期の位置付け

第1次中期経営計画（153P）をスタート
初年度は収益力を高め、153P成長の礎を築く



Ⅲ 2. 連結 通期業績計画

売上高500億、営業利益26億を計画
収益力を高め、営業利益18%増、当期純利益77%増

単位: 百万円	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績 (A)	2013/3 通期計画 (B)	増減額 (B−A)	増減率 ((B−A)/A)
売上高	46,716	47,983	50,000	+2,016	+4.2%
営業利益	2,282	2,212	2,600	+387	+17.5%
経常利益	1,541	1,588	2,000	+411	+25.9%
当期純利益	214	453	800	+346	+76.6%

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅲ 3. 国内ウェディング事業　主要指標計画

直営店・プロデュース型ともに取扱組数増加の計画

直営店	2012年3月期実績	2013年3月期計画
取扱組数（単位：組）	9,738	9,900
挙式披露宴単価（単位：千円）	3,975	3,975

プロデュース型	2012年3月期実績	2013年3月期計画
取扱組数（単位：組）	805	900
挙式披露宴単価（単位：千円）	2,844	2,850

※ プロデュース型にはレストラン提携、婚礼運営受託、ビル内施設プロデュースを含む

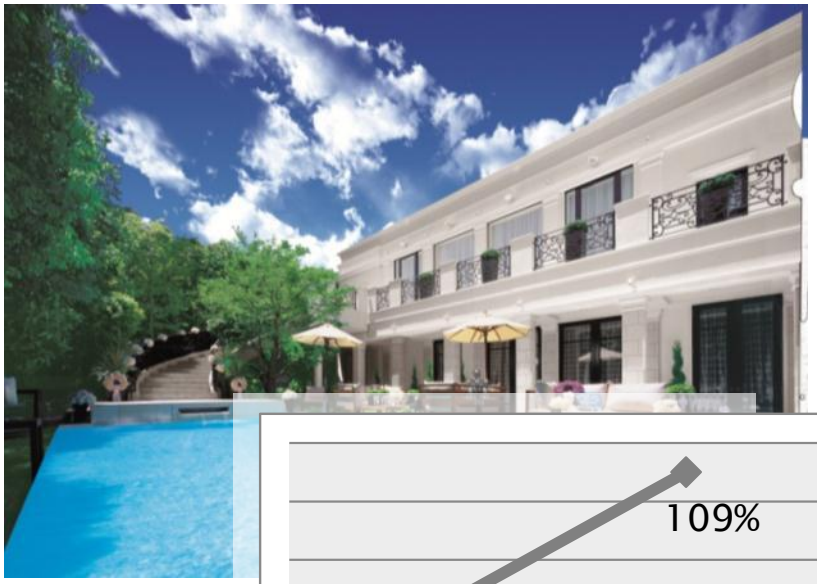
T&G TAKE and GIVE NEEDS

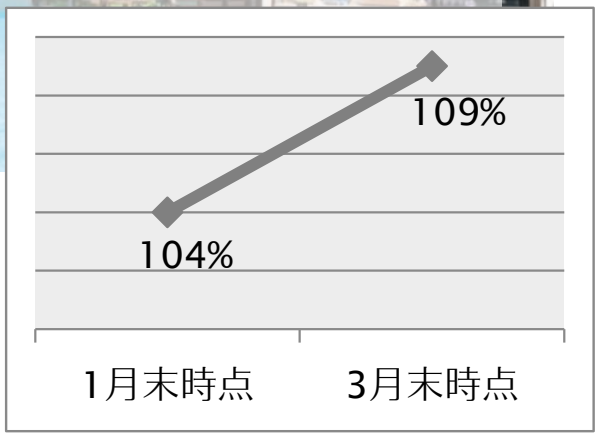
Ⅲ （参考）直営店来期受注組数残高

直営店の来期受注組数残高は前年同期比9%増

来期受注組数残高の前年同期比

＜直営店型＞





＜プロデュース型＞



2012年3月期よりプロデュースを開始したホテルブエナビスタ等が寄与し、順調に進捗

※ プロデュース型にはレストラン提携、婚礼運営受託、ビル内施設プロデュースを含む

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅲ 4. 2013年3月期の重点方針

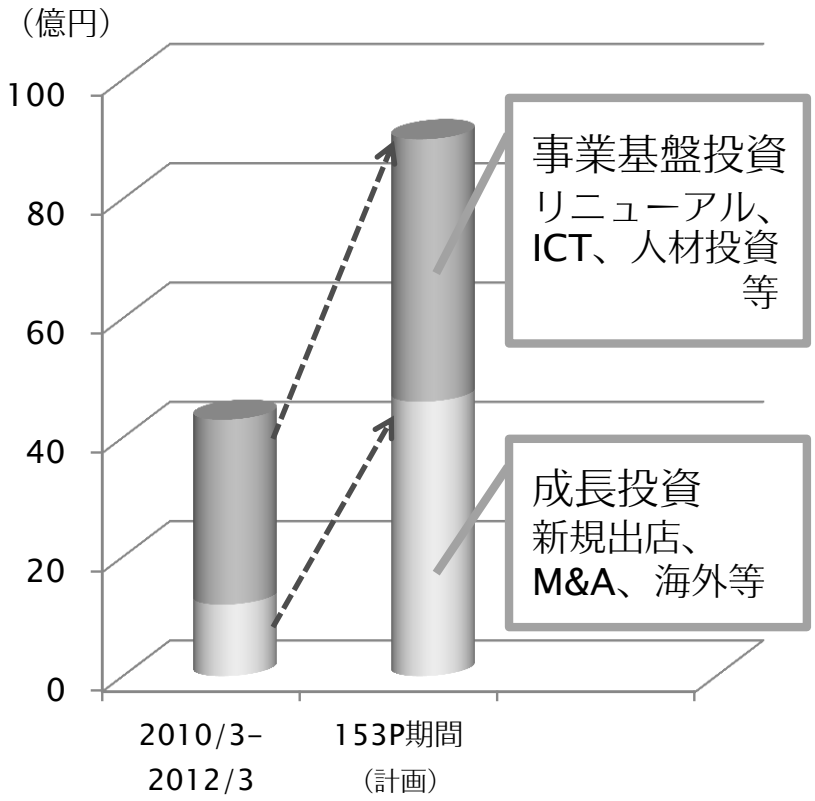
初年度として、3つの成長戦略を確実に実行
積極投資を行いつつも有利子負債削減を目指す

＜ 153P 重点戦略＞	＜2013年3月期の重点方針＞
海外戦略の加速 ＜153P：連結売上高構成比10%強へ＞	受注件数拡大で、アジア市場創出 リゾートウェディングシェアの拡大
ホテル婚礼受託事業の拡大 ＜153P：ホテル婚礼受託売上高50億円＞	ホテル提携数の拡大
直営店舗の強化 ＜153P：差別化戦略の推進成長、事業基盤投資額倍増＞	確実な新規出店 ハード・ソフトの更なる強み創り 次世代ウェディングスタイルの創出
強固な財務基盤の構築	積極投資を行いつつもフリーCF増加 （2013/3末有利子負債目標額：160億円）

T&G TAKE and GIVE NEEDS

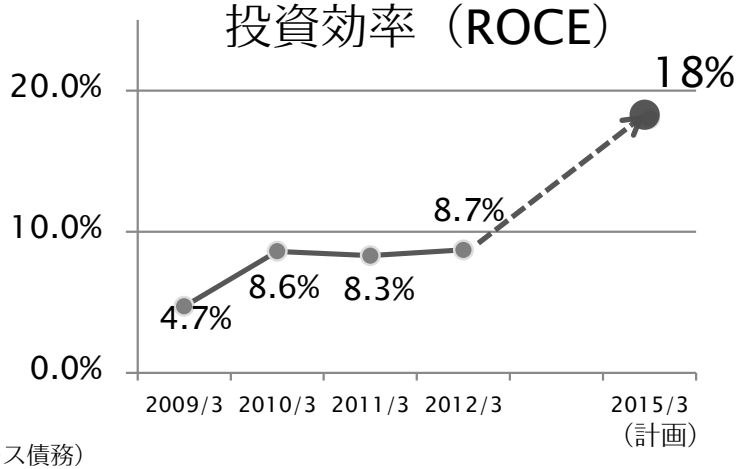
ハード・ソフトの強みへ計画的に投資

投資内訳



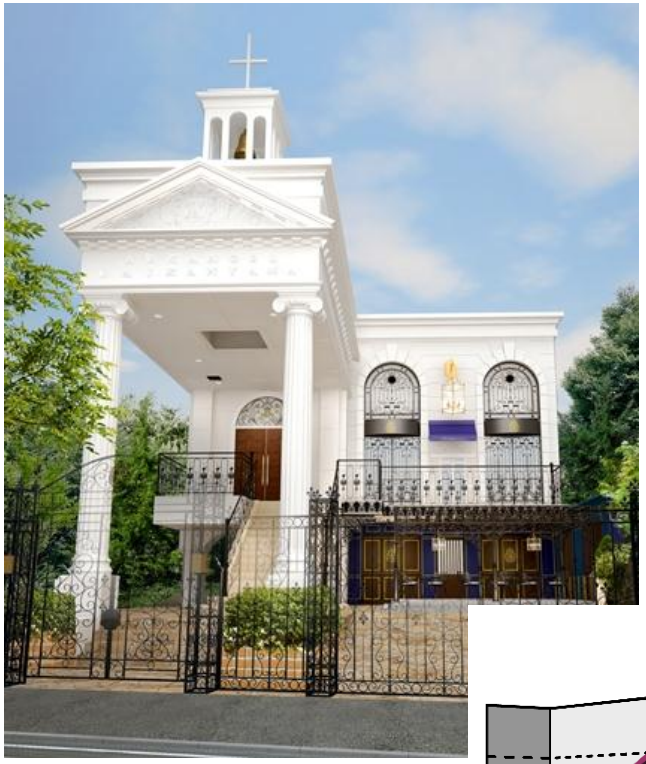
3年累計（億円）	2010/3-2012/3	153P期間（計画）
事業基盤投資	31	44
成長投資	12	46
投資合計	43	90

投資効率（ROCE）



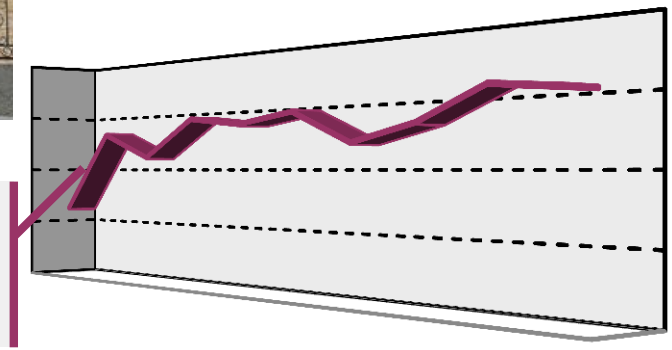
*ROCE（Return on Capital Employed）
＝EBITDA（営業利益＋減価償却費）÷投下資本（有利子負債＋純資産＋リース債務）

ハードの更なる強み創りへ積極投資
既存の優良店舗を計画的に強化



アーカンジェル代官山
リニューアル後の外観イメージ

投資だけに頼らず
ソフト面の強化により
出店から10年が経過してもなお
お客様から高い支持を受けている



（参考）アーカンジェル代官山の取扱組数の推移

リニュアル計画

中期経営計画に基づき
リニューアル計画を策定

初年度である2013年3月期は
6店舗をリニューアル予定

4-1-2. <Topic2>組織力の強化（エリア制導入）

新組織体系としてエリア制を導入
きめ細やかな施策をより迅速に展開



エリア制

エリア特性を考慮し
5つのエリアに営業部を配置

東日本営業部
　北海道・東北・信越
　北関東・北陸エリア

関東営業部
　1都3県エリア

東海営業部
　東海エリア

関西営業部
　近畿エリア

西日本営業部
　四国・中国・九州エリア

T&G TAKE and GIVE NEEDS

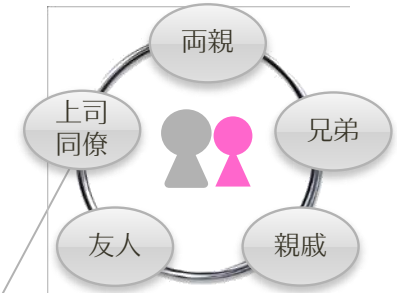
4-2. 次世代ウェディングスタイルの創出

HW市場のパイオニア企業として 次世代ウェディングスタイルを創出

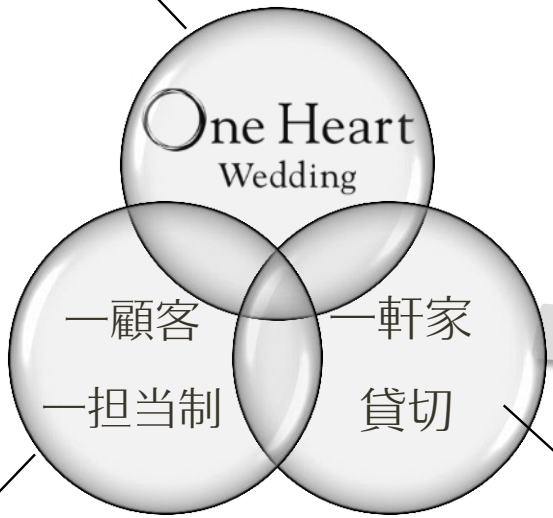
パイオニア企業として
次世代ウェディングスタイルを
創出

「心がひとつになる瞬間」

「心がひとつになる瞬間」を生み出すことが
結婚式の本質であり、このような結婚式を
“One Heart Wedding”と名付け、
更なるサービスの向上に取り組む。



ご新郎ご新婦様やご親族様
参列された方々の
「心がひとつになる瞬間」



当社の
差別化要素を
ベースに更に進化

きめ細やかな提案で オリジナルの感動を実現する

ご新郎ご新婦様の想いをくみ取り最高の一日を
創り上げるため、ご成約からパーティ施行までの全てを
一人のウェディングプランナーが担当。
長い時間をかけてコミュニケーションを深め、
きめ細かくニーズをくみ取る。

一組一組にプライベートな空間と時間を提供

チャペル、パーティ会場、ガーデン。
その全てを完全貸切。
「心がひとつになる瞬間」を演出する空間を演出。

HW：ハウスウェディング

T&G TAKE and GIVE NEEDS

4-2-1. <Topic3>最先端ウェディングの創出

“Haute couture Design”開始
日本発世界基準のウェディングスタイルを創出

Haute couture Design（オートクチュールデザイン）

T&Gの「究極のこだわり」を進化させ
“日本発 世界基準”のウェディングスタイルを創出





Haute couture Design
URL http://www.tgn.co.jp/hcdesign/



Process
1.テーマヒアリング
2.会場選定
3.プレゼンテーション
4.オリジナル制作/各種手配
5.施行
6.本番

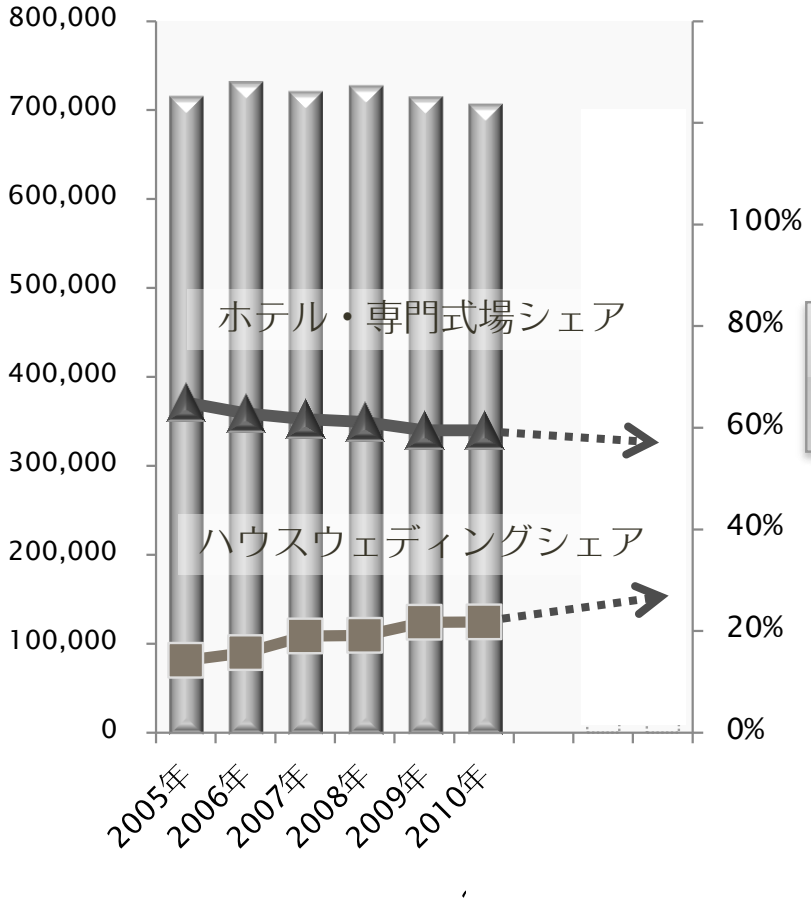
お客様のヒアリングをもとに、会場探し、ウェディングドレスや装花、各種演出、当日の施工・進行まで全てをトータルプロデュース

T&G TAKE and GIVE NEEDS

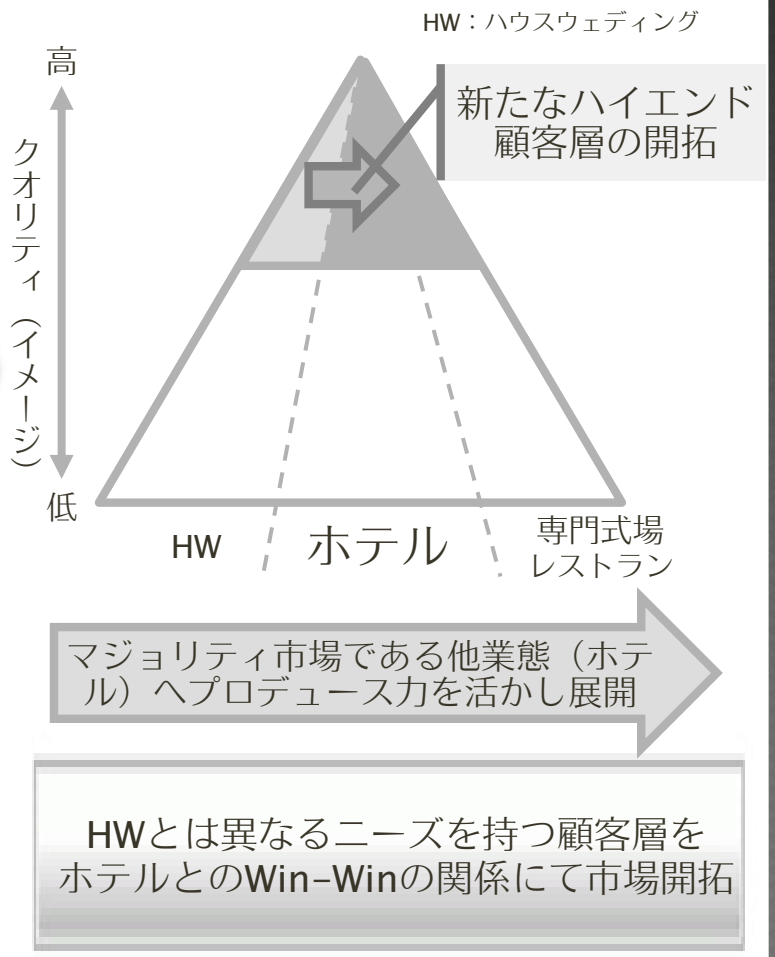
Ⅲ 4-3. ホテル提携数の拡大

ハイクラスのホテルを中心に新規提携数を拡大
2件目となるホテル婚礼受託のスタートへ

日本の婚姻組数



市場シェア拡大の考え方

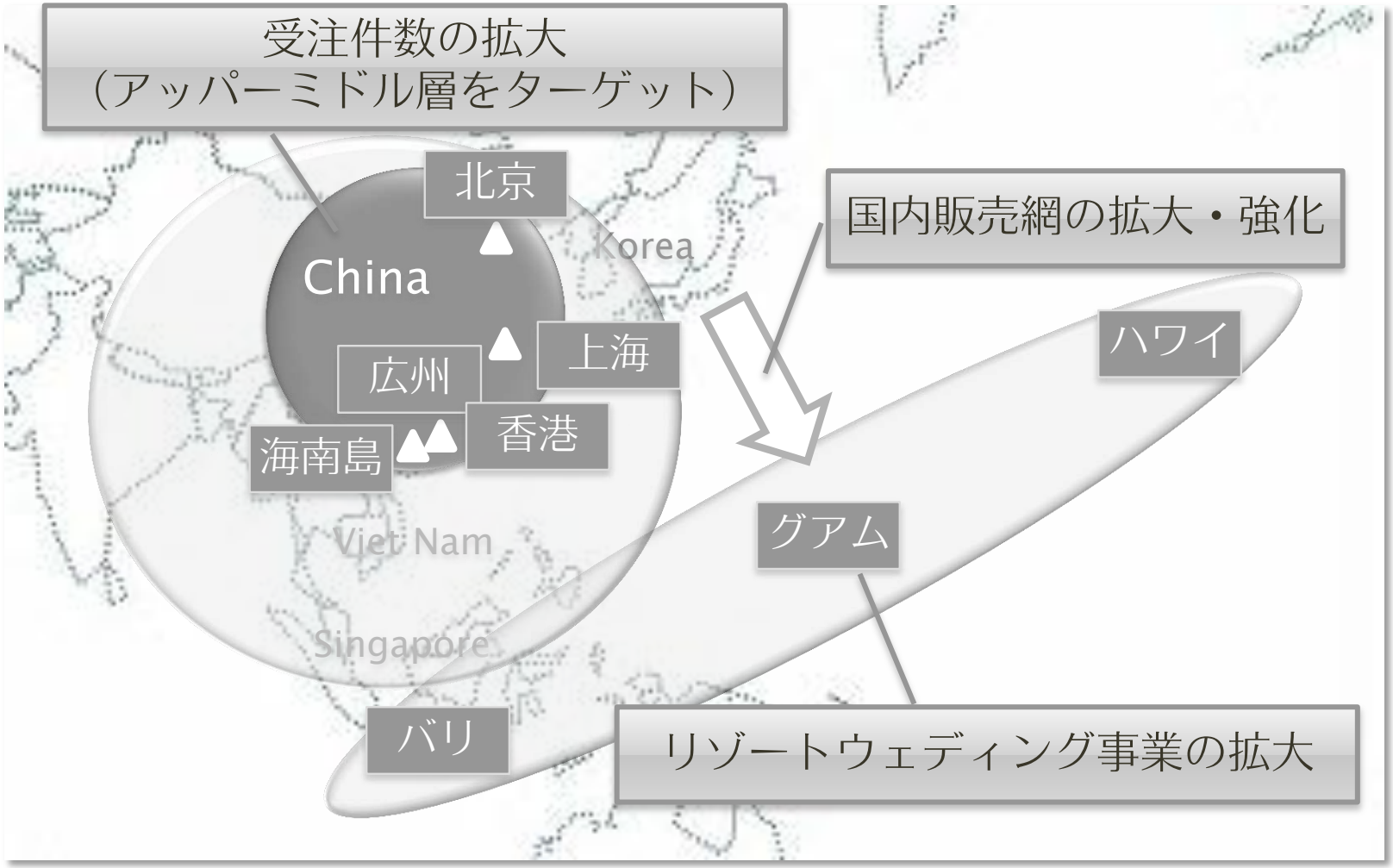


DATA:リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査」、厚生労働省「人口動態統計」
矢野経済研究所「ブライダル産業白書」を元に当社が作成

T&G TAKE and GIVE NEEDS

4-4. 受注件数拡大（アジア）／リゾートWシェアの拡大

アッパーミドル層の受注件数を拡大
リゾートWは国内販売網を拡大・強化



T&G TAKE and GIVE NEEDS

リゾートウェディングのシェア拡大を推進



アールイズ・ウェディング 心斎橋サロン

Address
大阪府大阪市中央区心斎橋筋1-9-17
エトワール心斎橋5階

Open
2005年7月

Renewal
2012年4月

Tel
0120-982-721

Open Hours
11：00~20：00
（水曜定休）

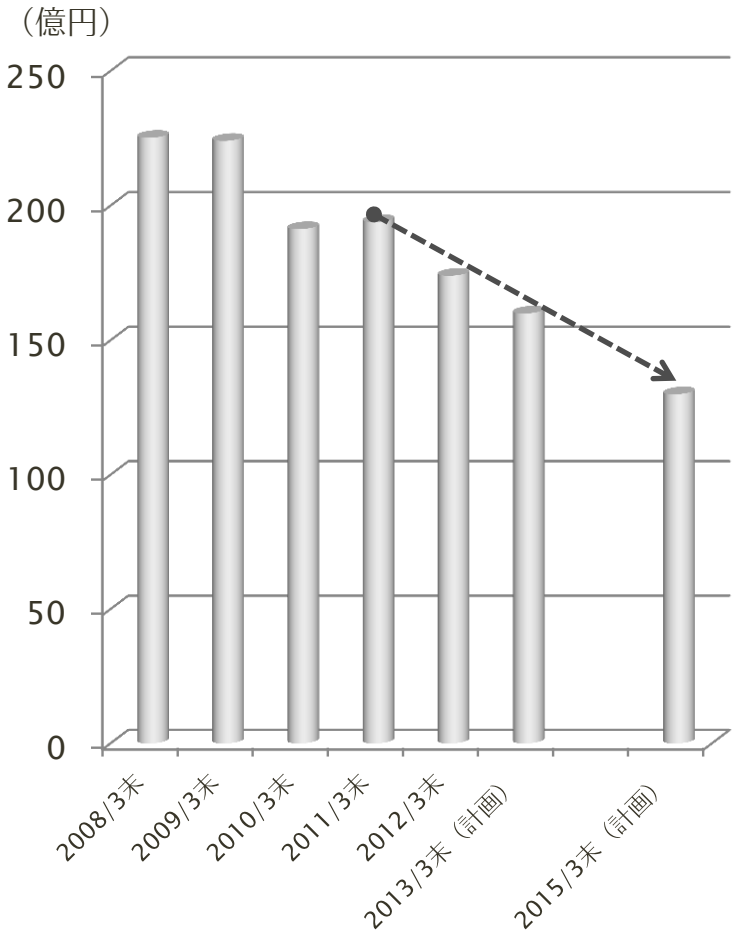
Access
地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線心斎橋駅より徒歩1分

T&G TAKE and GIVE NEEDS

4–5. 積極投資を行いつつもフリーCF増加

フリーCF拡大により有利子負債削減（2013/3末 有利子負債 目標額：160億円）

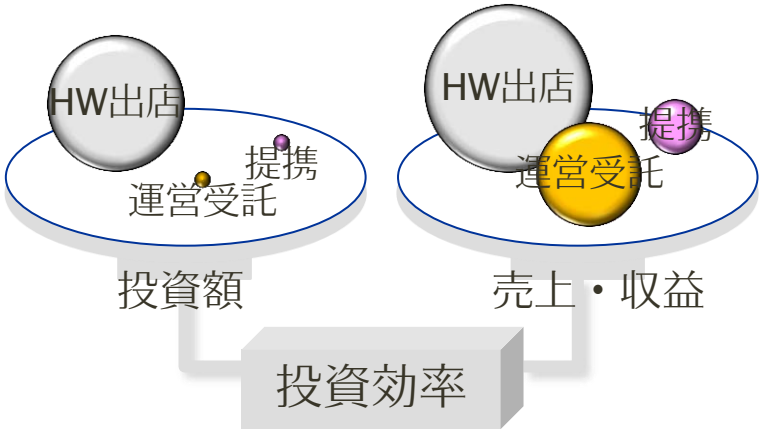
連結有利子負債残高推移



3年累計（億円）	2010/3 –2012/3	153P期間（計画）
フリーCF	12	73
(内、リース料と保証金の相殺額)	(9)	(40)

収益向上：成長戦略の推進
投資の効率化：ポートフォリオ戦略
営業CF増加：リース料と保証金の相殺

ポートフォリオ戦略



HW：ハウスウェディング

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅳ

Return to Stockholders
FY Ending March 2013
2013年3月期　配当予想

1. 2013年3月期 配当予想について

2012年3月期と同水準の期末配当を予定

	1株当たりの配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2012/3	0円	100円 （予定）	100円 （予定）
2013/3 （予想）	0円	100円	100円



当社は、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」により被災された方々や地域に対し、「100万人のOne Heart」というチャリティー企画を通した復興支援活動を行っております。
2012年3月期は下記の活動を行いました。

- One Heart義援金
  当社で開催される挙式披露宴1組当たり5,000円を寄付
- One Heart募金
  全国の直営店及びブライダルサロンでの募金活動
- 義援金付きエコバッグの販売
  当社オリジナルのエコバッグ（引出物袋）の売上の一部を寄付

その他、チャリティイベント、チャリティフラワー、試食会、フェアの売上全額を寄付

皆様のご協力を賜り、これらの活動での総額は56,680,892円となりました。

2012年3月からは新たに下記の活動を行っております。

- 100万人のOne Heart バルーンリリース
  「100万人のOne Heart」のロゴを配したオリジナルデザインのバルーンに「希望」が花言葉のガーベラの種を封入した商品を発売
  売上の一部を寄付

当社は今後もこうした活動を通じ、継続的な支援を行ってまいります。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

人の心を、人生を豊かにする

T&G TAKE and GIVE NEEDS